順慶寺だより

印刷・発行　順慶寺
2023年（令和５年）
9月号
VOL.359

今月の一枚

盆会で法話する三浦真教先生（8月5日、順慶寺本堂にて）

◆◇ 風入会と盆会 ◇◆

順慶寺では、宗祖七五〇回御遠忌法要をお勤めして以来、宝物の一部を本堂の後堂に常設展示している。特に大切な宝物は、昔から風入会を開催し玄関にてお虫干しする傍らで、展示することにしていた。昨今は、日程を盆前（８月の第一土曜日）にして、盆会も同時に開催するようになった。

今月の釈尊の言葉

自己を制してこそ
他者に資することができる

◆ダンマパダ（法句経）第159偈より

行に励むことを勧めた長老が、実は、怠けて横になっていた。これを知って叱らなかった釈尊の本意は？

◇自らを律することの難しさ◇

今月の釈尊の言葉は、『ダンマパダ』より、

「他人に教える通りに自分で行え。
自己をよく制してこそ、
他人を制することができる。
自己を制するのはじつに難しい」（第一五九偈）

からの引用です。

今月の言葉は、釈尊と弟子たちが、祇園精舎（ぎおんしょうじゃ）で雨安居（うあんご）に入って、修行していたときのひとまくです。雨安居では、釈尊が修行をする弟子たちに、瞑想（めいそう）する目的のために、①業処（ごっしょ）（瞑想対象）を与えるのが常でした。

ある雨安居のとき、ティッサという長老は、釈尊から業処を与えられると、五百人の比丘たちを連れて、瞑想するために森に入って行きました。森の中に入るとすぐ、

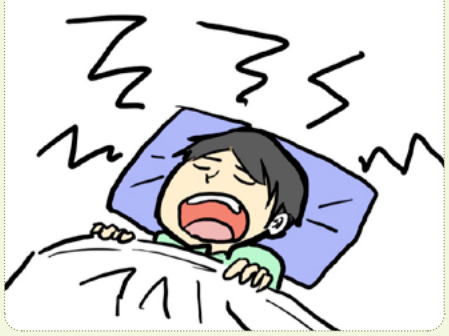
「同朋たちよ、釈尊から業処をいただきました。怠りなく勤めなさい」

と言い、自らは僧坊の中に入って行きました。

五百人の弟子たちは、ティッサの訓戒に従って、夜更けまで、屋外で②経行（きんひん）（歩いて行う瞑想）をしました。疲れて横になろうとすると、再び、ティッサがやってきて、「怠りなくはげめ」と言われ、外に出て経行を続けました。真夜中になり、疲れ切ったので横になろうとすると、またティッサがやってきて同じことを言いました。こうしているうちに、弟子たちは、ストレスのあまり瞑想することができず、上の空になってしまいました。

弟子たちの一人が、ティッサならば、ストレスにうち勝って瞑想目的を果たしているかもしれないと思い、僧坊を訪ねてみると、実は、ティッサは大いびきをかいて寝ていました。

若院のテーマカット　NO.52



弟子たちは怒り、釈尊のもとへ行き、ことの真相を話すと、釈尊は、静かに、「他人を訓育する者というのは、自己をよく制御すべきです。制御されたものこそ、他ものを御することができるのです」と語られたといいます。

◇内なる心の危うさ◇

かつて、アップルの創始者である、スティーブ・ジョブズが、最晩年に、「君たちの時間は限られている。だから他の誰かの人生を生きて時間を無駄にしてはダメだ。定説にとらわれるな。それは他の人々が考えた結果に過ぎないからだ。自分自身の内なる声を、他人の意見によってかき乱されてはいけない。最も大事なのは、心の声、直感に従う勇気をもつことだ。」

と演説したのは有名な話。自分の内なる声、直感は実に自身に活力とエネルギーを与えてくれるものです。

しかし、その内なる声には、貪欲、瞋恚、愚痴などの三毒も含まれてきます。私たちは、この三毒をうまく制御できず、結局周りの意見や空気に任せている場合が多く、なかなか我が心に自信をもつことはできません。

親鸞聖人は、

「しかればわれらは善人にあらず、賢人にもあらず。賢人というは、かしこくよきひとなり。精進なるこころもなし」（『唯信鈔文意』）

とおっしゃいます。心の内は、空しく、偽り、飾り、諂う心のみが支配するともおっしゃいます。

懈怠に満ちたティッサ長老のことを、酷い目に遭った弟子たちが責めなかったのは、こういった内なる心の危うさを釈尊が見抜いて、弟子たちに自制を求めたからに他なりません。

①【業処】
上座部仏教の座禅で説かれる、止（奢摩他＝散乱した心を離れ、思いを止めて心が寂静になった状態）における導入的な瞑想対象のこと。全部で四十種類あるので、四十業処とも言う。

②【経行】
原意は、一定の場所を徒歩で往復すること。二〇一二年現在の禅宗では、坐禅に伴う足の痺れや眠気を取り除くため、坐禅と坐禅の間に行うとされている。また、義浄によれば、経行には、病を取り除き、消化を助ける、健康促進の目的もあったとされる。

③【スティーブ・ジョブズ】
一九五五年アメリカ生まれ。アップルの共同創業者の一人であり、同社のCEOを務め、一切の妥協を許さないカリスマ的変革者として知られる。iPone、iPad など革新的な製品を世に送り出した。

（①～③はwikipedia を参照した）

じゅんこのなんでも質問！コーナー

祠堂とは、位牌などを納めるお堂という意味があります。宗派によっては、お寺に位牌堂を持って、先祖の位牌を本堂に祀ることを、祠堂と呼ぶことがあります。

ですから、祠堂経（または祠堂法要）という場合には、お寺のお堂に位牌が祀ってあるので、お寺でお経を上げてもらうことを差します。

ところが、浄土真宗では、位牌を用いることをしないことになっています。

9月にお寺では、祠堂法要が勤まります。しかし、祠堂って言葉は普段使いませんよね。どういう意味ですか？

これについては、別の機会にお話できればとは思いますが、位牌をお堂に納めないのに祠堂法要というのはおかしいのではないか、という疑問がありますよね。

流行歌は、歌う人が無くなると忘れられてしまいますね。しかし、お釈迦様の大切な教え（お経）は、読経することで、現代まで意義を失わず、救いの世界も伝えられています。

順慶寺の場合、昔から永代経といって、春と秋に本堂で大切なお経が上がり続けるように願って読経をしています。この読経が少しでも続けられるように、大切な身内が亡くなったときに、永代帳という名簿に故人の法名を連ね、故人のお敬いを兼ねていきます。

この永代帳が、祠堂に位牌を納めたように感じるところから、祠堂法要と呼ばれるようになりました。

若院の成長日記 Growth Diary

《第四十一回　映　画》

先日、妹と宮崎監督の「君たちはどう生きるか」を見に行きました。正直一回見ただけではストーリーを理解することができませんでしたし、人によっても映画の考察が異なるようです。

これはお経を学ぶ際の感覚と近いと思いました。

お経は一見しただけでは意味が分かりませんし、同じ文章を読んでいても解釈は何通りもあります。そこからその教えが自分の人生にどう照らされているのかも人によって異なります。

そんなことを思いながら、映画は面白く鑑賞できました。

お寺とともに　思い込み

お盆が過ぎても酷暑が続きます。暑さが続く限り、夕方の水遣りは必須です。

ある日の夕方、日がかげってきたとばかり水遣りやらあれもこれもと欲張って作業をしていましたら、辺りがすっかり暗くなってしまいました。

これは大変と家に向かって駆け出すと、盲導犬を連れ、杖を持ったご夫婦が若いお連れの方と境内を歩いて行かれるのが目に飛び込んできました。

こんなに暗くなってからの外歩きはさぞご不自由に違いないと、とっさに

「暗いですが大丈夫ですか？」

と声をおかけするとちょっと驚かれた風で行ってしまわれました。

そしてすぐに先程の言葉が不用意だったと気づいたのです。ご夫婦にとっては暗いことに意味がないことを。

思い込みや固定観念で縛られていると、大事な「気付き」が出来ないことを痛感しました。

順慶寺執事

法名並びに名簿一覧

祠堂新規上納者並びに倶会一処該当者

来たる九月十二日（火）に順慶寺において、秋季永代経（過去五十年間＝昭和四十八年九月～令和五年八月に祠堂金を上納された方々への法要、ご案内は命日に関わらず上納から五十年間）が開催されます。また、当日、今年五十回忌を迎えて、当山に納骨された方々の倶会一処式も行います。

昨年度（令和四年度＝令和四年九月～令和五年八月）、新たに祠堂金を順慶寺にお上げ下さり、御紐解き法要（祠堂開き）を執行させていただいた方々（または執行予定の方も含む）は、以下の通りです。

新規祠堂上納者一覧（敬称略）

為 聞香院釋尼妙早　神谷サナエ
願主　神谷　忍（西念寺門徒）

為 光恵釋尼照順　池田てる子
願主　池田　暁（今川東組）

為 即生院釋良稔　稲垣　稔
願主　石川満儀（下高根）

為 常宣釋称鍼　池田鍼治
願主　池田桂子（高畑組）

為 果峰院釋正信　矢田正信
願主　矢田昌弘（淨信寺門徒）

為 清雅院釋尼妙倉　横山くら子
願主　横山幸司（山ノ端組）

為 香樹院釋護教　加藤　護
願主　加藤哲夫（山ノ端組）

為 楽求院釋敏応　塚本勝敏
願主　塚本英紀（今川西組）

為 願生院釋尼妙政　志水政子
願主　志水政子（下高根）

為 融和院釋靖安　岩間　靖
願主　岩間喜久美（高畑組）

㊟祠堂金は、三分の二を順慶寺の什物拡充などに充て、三分の一を護寺会金として、護寺会会計に積立をさせていただいています。

倶会一処該当者一覧（敬称略）

以下は、本年五十回忌（昭和49年没）で倶会一処を迎えた方の中で、当山須弥壇および納骨堂に納骨されたことが確認された方々です。

祠堂法要の午後より、法要をして納骨堂の中に共同埋骨されます。

1月19日 岡本ヨシコ　岡本釦三の妻
3月26日 鈴木ラク　鈴木重明の母
5月2日 岡本和幸　岡本鑓の長男
6月12日 杉浦久美　杉浦末太郎の父
6月19日 岡本良猛　岡本忠義の孫
6月21日 池田善明　池田イツエの夫
7月19日 佐野ちづ　佐野長蔵の妻
8月2日 峯増次郎　峯花子の父
8月14日 池田きぬ子　池田正一の姉
8月16日 相木ひで　相木茂保の母
9月15日 鬼頭金光　鬼頭庄平の長男
10月1日 岡本とみ　岡本孝男の母
10月13日 志水美登　志水文夫の父
10月22日 加藤喜代子　加藤昇の妻
10月31日 池田文太郎　池田秀次の父
12月31日 杉浦小糸

以上十六名

8月度護寺会物故者

聞香院釋保寿
8月8日寂 塚本保次（97）
山ノ端組 塚本正夫様の父

釋義真
8月11日寂 安藤義和（87）
みよし市 安藤和己様の父

釋文眼
8月10日寂 杉浦文一（83）
豊田市 杉浦和幸様の父

釋尼昌華
8月19日寂 佐野昌子（83）
泉田町 佐野吉嗣様の母

常住院釋尼鈴音
8月10日寂 竹内スヅエ（92）
北尾組 竹内修様の母

静香院釋正敬
8月19日寂 杉浦正直（79）
西尾市 杉浦新八様の叔父

編集部短信

◆盆会・風入会開催＝さる8月5日、講師に三浦真教氏を迎えて盆会並びに寺宝風入会が開催された。盆会は、本年まで須弥壇収骨された方のみのご案内となっており、本堂に50名ほどの参詣があった。

◆上半期教化委員会を開催＝さる8月23日、上半期教化委員会が開催された。会の中で、助音講の練習を男女とすること、下半期の大法要を通常開催にすること、真宗講座の講座テーマなどが話し合われた。

◆寺報製作の紙折り機新調＝8月、寺報が発刊より三十周年を迎えるのを期に、長らく使用してきた紙折り機、今まで使ってきたデュプロの機種からマックスの機種に新調した。

編集雑記

このところ、眼を酷使すると直ぐ疲れるようになって、黒いものが目の前を飛ぶようになってきました。忙しさのあまり、半年ほど放っておいたのですが、いよいよ黒いものが増えてきました。盆が終わり、半日の休日をもらって、眼医者に行ってみたら、日帰りで即手術だと言われました。病名は、網膜裂孔。奇しくも老院が還暦のころ、網膜剥離をしていたのですが、その一歩手前でした。やはり親子ですね。（住）

……

大変な暑さになりました。この暑さで一番つらいのが車の中に入る時。サウナのような空気に入っていくのがたまらなく億劫です。この暑さも彼岸までに収まるといいですが…。（若）

編集・発行人　池浦裕哉
印刷・発行所　順慶寺内
真宗大谷派順慶寺
郵便番号　四四八―〇〇〇四
愛知県刈谷市泉田町池之浦三
連絡　電話　〇五六六(二二)一九三四
FAX〇五六六(二五)六一三三
郵送　郵送料毎月百円(年間千二百円)
振替〇〇八三〇―〇―一六二六九
会員　護寺会員には五百円にて一年間郵送をいたします。
インターネット　URL：http://www.junkyoji.com/
E-MAIL：support@junkyoji.com

順慶寺

9月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	金	(有志)寺カフェ(9:00～、順慶寺南落間他)	
2	土		
3	日		
4	月	おたのしみ会(14:00、順慶寺)	
5	火		
6	水		
7	木		木－1
8	金		
9	土	助音講(16:00、順慶寺玄関)	
10	日	大掃除(8:00、順慶寺)	
11	月		
12	火	祠堂法要・倶会一処式(10:00、順慶寺)	
13	水		
14	木		木－2
15	金	同朋ゼミ(15:30、順慶寺)	
16	土	順慶寺子ども会(9:00、順慶寺)	
17	日		
18	月	真宗講座(19:00、順慶寺本堂)　敬老の日	
19	火		
20	水		
21	木		木－3
22	金		
23	土	秋分の日	
24	日		
25	月		
26	火		
27	水		
28	木	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺本堂)	木－4
29	金		
30	土		
10/1	日	(有志)寺カフェ(9:00～、順慶寺南落間他)	

9月行事内容 詳細

祠堂法要・倶会一処式

9月12日(火)
午前10時～　順慶寺本堂
法　話　伊奈祐諦氏

順慶寺に過去五十年間（昭和48年9月から令和5年8月）に祠堂があがっている方に対する、祠堂法要を厳修いたします。

本年は、コロナ禍の体制を終了し、午前午後の法要とし、お斎接待、呈茶接待などを再開いたします。令和元年のコロナ禍以前の体制に戻す予定です。

本堂の参詣席の規制を撤廃いたしますので、通知のあった方々、また、法要で法話の聴聞を希望される方は遠慮無く御参詣ください。

※同日午後から、今年五十回忌を迎えた方のお骨を納骨堂下に埋骨する倶会一処式も実施いたします。

祠堂法要日程

9月12日(火)　午前10時から
会場・順慶寺

○10時～12時　祠堂法要
　法話：伊奈祐諦氏(二席)
（お斎）正午～　庫裏及び書院にて
○13時～15時　倶会一処式・祠堂法要
　法話：伊奈祐諦氏(二席)
（おやつ）午後の法話の休憩時

◎午前9時から10時半まで書院にてお抹茶接待があります。

おしらせ

●9月の寺カフェについて
9月1日の寺カフェでは、8月に続いて、夏季限定でアイスコーヒーの準備をいたします。皆さんお誘い合わせてお越しください。

●祠堂法要の駐車について
祠堂法要の際の駐車は、境内横の駐車スペースを準備しておりますが、不足となった場合は、近隣の駐車場を準備しております。当日、係員の指示に従ってください。

●同朋ゼミの時間変更について
9月15日の同朋ゼミは、講師の都合により、時間を一時間半遅く、15時30分から始めさせていただきます。ご了承ください。

●次号で寺報三十周年
平成5年9月より毎月発刊した寺報が次号で、三六〇号となり、三十周年を迎えます。今後とも寺報をお引き立てくださいますようお願い致します。

じゅんこのときめき歳時記

サトイモ

みなさん、秋を感じる9月になりました。今年は酷暑で、毎日本当に暑いので、本当に秋は来るのか心配になりますが、日暮れが早くなって虫の声が聞こえるようになったので、秋の夜長を感じます。

9月になるとサトイモがそろそろ収穫できる季節ですね。サトイモは、味噌汁に入れると美味しいので、やはりもう少し涼しくなった方がサトイモの季節を感じます。

サトイモは、山で採れるヤマイモに対して、里で多く栽培されるのでサトイモと言われるそうです。収穫されるようになったのは、何と米が作られるよりも古い、縄文時代からだそうです。

サトイモは、種芋の成長した茎の下部にできる親芋から、周りを囲むように子芋ができ、子芋からさらに孫芋ができるそうですが、一般的に食べるのは子芋が中心だそうです。

こんな日は
小芋に浸みる　母の味
鳥羽夕摩